

## 令和6年度 第1学期 始業式 校長挨拶

いよいよ今日から新しい年度(令和6年度)が始まります。また、アフターコロナとして、丸1年が経とうとしています。正体不明の感染症により、突然失われた、当たり前にあった日常の大切さを実感し、日々の生活を大切にする、そんな気持ちを持っているのではないのでしょうか。新年度を新たな気持ちで迎え、心機一転して学校生活を送りましょう。

さて、総仕上げの学年である3年生にとっては、卒業と進路実現に向けた大切な1年となります。この1年が皆さんにとって悔いのない実りある年となることを期待しています。また、2年生は、「この1年が一番力が伸びる、一番力を伸ばせる、大切な1年である」と心に刻んでおいてください。何事も恐れず、思い切っているいろいろなことにチャレンジしてみるなど、自分自身を大きく成長させるチャンスです。自分の進路に向き合い、将来を見据えたうえで、今何をすべきか、何が必要かを考え、それに対する取り組みを1つ1つ積み重ねる時期でもあります。取り組み一つひとつが、皆さんの進路実現に大きく影響してきます。気を引き締めて取り組んでください。

私が4月1日に本校に着任してからすでに1週間経ちました。みなさんに自己紹介をするのは今日が初めてですが、この間、私に対して、多くの生徒の皆さんは大きな声で、とても気持ちの良い挨拶をしてくれました。おそらく部活動や資格取得などの学習に参加している生徒だろうと思います。とてもうれしかったのと同時に、歴史と伝統のある川越工業高校生が頼もしく思え、私の力の及ぶ範囲で、全力で応援したいと思いました。

当たり前のことですがきちんとした挨拶ができることや、

目標を設定し、実現に向けて努力することは、学力と並んで、皆さんが今後社会に出て役割を与えられ、成功するためはとても大切な能力です。これらの力は、日々の授業にまじめに取り組むのはもちろんですが、資格取得などの補習に参加したり、部活動や生徒会学校行事等に真剣に取り組んだりすることで身に付きます。

「地域や社会で様々な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が「社会人基礎力」と呼ばれる力をつけましようと呼びかけています。これは、それほど新しい話ではなく、10年ほど前から言われ始めています。その3つの力とは「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで協力する力」です。

多くの生徒は高校生活で、何かにチャレンジし、少しでも自分を成長させようとしている姿勢でいると思います。その中で壁にぶつかったとき、どうすればそれを乗り越えられるか考えたり、先生や友人に相談したり、仲間と協力したりして解決しようと努力しています。また、失敗することも経験し、失敗を糧に途中で軌道修正しながら夢や目標に向かって進んでいっています。そして、最終的に、自分（自分たち）が設定したゴール(夢)に近づけていく、そんな力を、みんなが持っていると思います。

先ほどお話しした、力強く挨拶をしてくれた生徒たちをはじめ、工業高校で学ぶ君たちは、社会人基礎力を3年間で習得できるのです。

3年生は、このあとすぐに進路活動が始まります。ぜひこの力を強みにして全力で進路実現に取り組んでください。

1・2年生は将来の自分を思い描き、今何をすべきかを考えながら、令和6年度、この1年間を充実したものにしてほしいと思います。

今年度の皆さんの努力と、その先にある成果に期待します。